

# 風工学シンポジウム論文集 査読要領

## 第 23 回風工学シンポジウム運営委員会

風工学シンポジウム運営委員会は、論文集の水準を保つため査読委員会を設けて厳正な審査を行い、論文登載の可否を決定するとともに、必要に応じて著者に原稿の修正を勧告する。

査読委員会は投稿論文の査読を各分野の専門家に依頼し、その査読結果に基づいて校閲、審査する。これを受けた運営委員会での登載可否の判定は次の手続きを経て行う。

- 1) 1 編の論文に対し、3 人の査読者に査読を依頼し、登載の可否の判定を仰ぐとともに、査読意見を求める。
- 2) 査読者は論文を 1~6 点の範囲で採点する。
- 3) 論文登載の可否は 3 名の査読者の査読点の合計に基づいて判断する。

なお、採択された論文は必要な修正がなされたとき、論文集に登載されることになる。再査読は行わないこととする。

### 査読に当たっての留意事項

#### 1) 査読手順について

- ① 所定期限内に、査読結果を査読票に記入し、電子メールにて査読委員会に返送する。
- ② 査読依頼時に送られた論文ファイルは、査読終了後に査読者の責任において消去する。
- ③ 登載の可否に係わらず、査読結果の内容は原則としてそのまま著者に送付される。
- ④ 論文原稿は著者に返却しないので、すべての修正事項を修正意見欄に記入する。
- ⑤ 登載可と判定された論文についても、修正の段階で著者に求めた事項が十分に配慮されていない場合には、登載否として論文を返却する権利を運営委員会は留保する。
- ⑥ 最終的な掲載可否、指摘事項などは運営委員会の責任において決定し、著者に通知する。

#### 2) 論文内容について

- ① 本論文集は、風工学に関する研究成果、技術開発成果を論文として発表する場である。その内容は風工学に大きく寄与するものであるとともに、論文としての論理性、信頼度も要求され、正確に書かれていなければならない。
- ② 登載可否は、本論文集の主旨に則り判断されることとなるが、具体的な判断基準については、共催学協会の論文集の登載評価の判定基準に準拠することを原則とする。
- ③ 本論文集は再査読を行わないので、修正事項が多い、あるいは内容の本質に係わるもので、査読者が最終論文に責任がもてない場合には否の対象となる。
- ④ 同じ内容の論文がすでに他誌に発表されている場合（ただし、例えば、会社技報、学会大会などの概要集は除く）は否の対象となる。
- ⑤ 形式的な論文の体裁に関しては、査読委員会で審議する。

以上